



### ■巻頭言 退任のご挨拶

『三つの宝を引き継ぎ』

HBC委員長 蓮井康人

「信じて祈れば、求めるものはなんでも、いただくことができる」

マタイ7：7 (塚本虎二訳)

主の御名を崇めます。

2000年から浜名湖バイブルキャンプ委員として20年間、キャンプ宣教の奉仕を関わらせていただきました。



HBCは2000年に東海ブロックの管理下から日本同盟基督教団に移管されました。初代HBC委員長武藤正信先生、2代目原田和典先生、その後任として2010年から10年間委員長を務めさせていただきました。

武藤先生はHBCの創成期(宿泊棟改築と旅館業などの行政手続き)に尽力され、原田先生は現在のチャペル建設の陣頭指揮を取り、東海東・西宣教区の支援態勢を作られました。神さまはその時々ときどきにふさわしいキャンプリーダーを立ててくださいました。

原田前委員長が2010年度第3回委員会の退任挨拶で浜名湖キャンプ場の「三つの宝」をあげられました。

- ①この「場所」
- ②協力や参加してくださる人の「愛」
- ③常駐して奉仕してくださる「働き人」

さて、3代目の私は、その尊い宝(財産)をどのように用いれば良いのかを考え、相談し、キャンプ場を維持することをさせていただきました。チャペル・宿泊棟等施設のメンテナンスが毎年のようにあり、キャンプ委員と奉仕者の世代交代もありました。

感謝なことに「三つの宝」を神さまがさらに輝きを増し加えてくれました。様々な賜物と能力をもったキャンプ委員、犠牲をいとわず喜んで捧げ、キラリと汗を流されたHBCを愛する兄弟姉妹、主催キャンプで救霊のために協力してくれた若者たちに支えられ、様々な課題も乗り越えることができました。

私はこの三つの宝を次委員長にも引き渡せることを感謝します。次委員長はその宝をもっと磨き上げ(聖徒を整え)、神さまの栄光を輝かせてくださることと思います。

しかし、私には残された務めがあります。SAMとの教団レベル信徒レベルでの交流に取り組むことです。故吉持先生たちが25周年の記念誌に語られた夢(イスラエル経由でスウェーデン訪問)と、SAMとの宣教協力(キャンプ場と東海との教会交流)を今後許されれば、主の御心ならば計画していきたいと祈っています。

最後にHBCをキリストの愛を持ってとりなし、キリストのためなら喜んで捧げ、キリストに仕えるように忠実に支えてくださいましたお一人お一人に、また忍耐を持ってキャンプの働きのために送り出してくれた磐田キリスト教会の皆さんにこの紙面をお借りしてではございますが感謝を申し上げます。**HBC最高です!**

### ■青年キャンプの案内

担当 井上慎治

今年もGW(5/3~5)に青年キャンプを開催します。名古屋のシティリジョイスチャーチの榊原康成師を講師にお迎えし、「忍びのすゝめ」と題して「忍耐」について学びたいと願っています。みことばの養い、信仰の仲間たちとの出会いと再会、充実のプログラムと美味しい食事をお楽しみに。(新型コロナウイルスの影響で中止となる可能性があります。4/17までにホームページでお知らせいたします。)

### ■バレンタインバンケット

担当 鶴木 証光

私がHBCで奉仕させていただいて3年がたちました。多くの方々の尊い祈りと奉仕に支えられながらの働きであったと思いきこさせられます。バレンタインバンケット(以下VB)はその目的の一つとして皆様に感謝を表したいと考えた企画です。2月11日に行われた会に68名の参加者が集われ、穏やかな交わりの内に食事会を行うことができました。ゲストにゴスペルシンガーのMIGIWAさんを迎え、多くの有志による出し物も色を添え無事に終わることが出来ました。何より皆さまが期待され喜んで参加し、また普段キャンプに来られない方々も来場してくださったことも主に感謝します。また未信者の参加者も5名与えられてよき証の時を持つことができ、VBがきっかけで教会に誘うことができたという嬉しいお話をいただくことも出来ました。次回も行う予定です。ご期待ください。



### ■春の中高校生キャンプ

担当 杉山義也

みなさんこんにちは。ご存知の方も多いとは思いますが、春の中高校生キャンプは開催しませんでした。今、世界的に流行している新型コロナウイルスが早く終息することを祈ります。でも、このまま中高生たちにみことばを届けられないまま、新学期を迎えるのは忍びない...ということで、キャンプ中でしたら3日目に当たる3/26の午後に「ズームイン!!浜!」という企画しました。zoomという会議用アプリを用い、「複数人同時テレビ電話」の要領で、賛美の動画と川口師によるメッセージ、そしてグループに分かれての分かち合いを行いました。メッセージは創世記19章から、アブラハムのとりなしの祈りと、ロトがソドムとゴモラから救い出される箇所が語られました。そして中高生たちは、「神の救いは絶対である」ということを学び、「他者をとりなす祈り手となる」チャレンジを受けました。キャンプが行えなかったのは残念でしたが、インターネットを用いた新たな可能性を見出すことができました。夏のキャンプ、またそれ以降のキャンプが開催できますようにお祈りください。

### ■奉仕/献金アピール

HBCサポートスタッフ：佐藤賢祐

2017年4月からHBCのサポートスタッフとしての働きに携わり、いよいよ4年目を迎えます。ここまで、皆さまの祈りと愛のお心遣いによって、霊的にも肉体的にも支えられてきたことの恵みを心から主に感謝いたします。新型コロナウイルスの影響により、予定されていた多くの貸出および主催キャンプがキャンセルとなりました。一刻も早い終息と回復、感染されている方々とそのご家族に、主からの癒しと平安があるようにと祈るばかりです。



さて予定されていた貸し出しと主催がキャンセルとなったことで、普段手を付けられなかった大型の廃材処理や、昨年伐採した大量の枝木の焼却、施設内外の清掃など、肉体労働の毎日を過ごしています。

2019年は、月に2回、東海東西宣教区諸教会や貸出リピーターの諸教会を訪問し、主日礼拝説教のご奉仕とPVを用いてHBCの案内をさせていただきました。2020年9月以降の日程がまだ空いていますので、お声をかけていただければ、訪問し、喜んでみ言葉の奉仕をさせていただきたいと願っています。

また、今後も、皆さまの祈りによって、HBCを通して福音宣教の働きに携わっていきたくと思われています。経済的に更に整えられていようようにお祈りに加えていただければ幸いです。

